

平成20年度第3回「これからの図書館のあり方」検討小委員会 議事録

1 会 議 名

平成20年度第3回「これからの図書館のあり方」検討小委員会

2 議 題

- (1) 「これからの図書館のあり方」機能・サービスの骨格案について（非公開）
- (2) (仮称)八幡西図書館ゾーンイメージについて（非公開）

3 開 催 日 時

平成21年2月6日（金）

10時00分～11時00分

4 開 催 場 所

北九州市立中央図書館内

視聴覚センター第2会議室

5 出席者氏名 委員（6名：敬称略）

会長 棚次 奎介（北九州市立大学基盤教育センター教授）

副会長 吉田 幸雄（北九州市学校図書館協議会会長）

浜崎いつ子（北九州市婦人団体協議会理事）

服部多恵子（北九州市社会教育委員）

中村 尋子（北九州市保育所連盟常任委員）

高畠登美子（成人読書会「四季」副会長）

6 会議経過（発言内容要旨）

- (1) 「これからの図書館のあり方」機能・サービスの骨格案について  
(事務局より資料に沿って説明)

委員 （仮称）八幡西図書館（以下、「八幡西図書館」という。）でも、次世代の育成を支援する図書館ということに特に力を入れていくと聞く。そういう意味でも、今後の図書館では、そうしたことに重点を置くということか。

事務局 図書館の機能として、一般図書は当然、充実させていくが、そのうえで、八幡西図書館の場合は、子育て支援にも力を入れていきたい。現在の少子高齢化社会では、子育てに対する不安感などが言われているので、全体的にも、そうしたところに少し力を入れさせていただきたい。

委員 視察した伊万里市民図書館では、保育園児全員が図書館カードを持っているということだった。これはものすごく刺激になったと同時に、とても大事なことだなとも思った。

事務局 確かに、小さな子どもの頃から自分の図書カードがあって、図書館を身近に感じるという環境は非常に大事だと思った。

委員 機能・サービスの骨格案では、新しい事業も大変多く含まれていて非常に充実した内容と思った。これは、実現に向けて実施するという前提なのか。

事務局 必要な機能サービスとして挙げる以上はその方向でやっていきたいと考えている。ただし、その前提として、相手方のある事業も多いので、そうした調整も含めて頑張っていきたいという方向性で整理させていただきたい。

委員 今ある財産をフルに活用した上で、さらにたくさんの新しい事業も盛り込んでおり、とてもいいものになっている印象を受けた。これが本当に実現していけば、非常によくなると思う。

事務局 既存の図書館ではスペースの問題もあり、全図書館で全て実現できるということにはならないと思うが、新しく整備する八幡西図書館でモデル的に実施し、実現できる

ところから広げていくというようにできればいいと思っている。

委員 苅田町立図書館との相互利用は実現の見込みがあるのか。

事務局 広域利用に入っていないので、今後実現に向けて努力したいと考えている。

委員 実現したいという希望だけではなく、ある程度見込みがあつてのことか。

事務局 相手があることなので、この方向性で進めたいということで理解していただきたい。

今の段階で、現実的に無理だからと考えると、どんどん縮小していくので、そういう意味で整理させていただいた。

委員 例えば、図書館司書の学校への派遣は、今のくらい実施しているかは分からないが、今後はもっと充実すると期待したい。

事務局 平成 19 年度は、読み聞かせなどは別にして、延べ5校に派遣した。このほかに、学校との連携による子どもの読書活動推進に向けた図書館司書の学校への派遣は、これまで取り組みが進んでいなかったもので、充実させていく必要があると思っている。

委員 提示された機能・サービスは、とても素晴らしい。頑張ってください、協力できるところは一緒にやっていたらいいと思う。

会長 今年度中にとりまとめる答申案は、先に図書館配置のあり方を示した中間とりまとめに、本日議論した機能・サービスを加える形にしたい。答申案は、図書館協議会で諮ることとする。

(2) (仮称) 八幡西図書館ゾーンイメージについて

(事務局より資料に沿って説明)

委員 図書館協議会で視察した伊万里市民図書館では、子ども連れのお母さんたちが講演を聞けるような部屋があったが、そうした部屋をつくる考えはあるか。

事務局 伊万里市民図書館は、本市における生涯学習センターのような機能を一部に持っており、複合的な施設といえる。八幡西図書館については、スペースの問題もあるが、同じ敷地にホールを建てる計画があるので、講演を聞けるような部屋は予定していない。ただ、親子が交流できるスペースなどは、交流ゾーンの中で確保していきたい。

委員 小さなことだが、お父さんが子どものおむつ替えをする場所をつくる考えはあるか。

事務局 多目的トイレの利用を想定している。男女兼用で利用できる多目的トイレは車いすでの利用だけでなく、おむつ替えやオストメイトなど幅広い利用方法を想定している。

委員 図書の配架方法や棚の高さなどは決まっているのか。

事務局 図書館を建てるにあたり、大きく広く開放的な空間づくりを求めている。そのためには、子どもなど利用者を想定しながら書架の高さに配慮するなど、広く見渡せるような空間づくりを考えていきたい。図書の配架については、利用者が探しやすい並べ方を検討するなど調整していきたい。

会長 伊万里市民図書館では、本棚と本棚の間のイスで読書できるスペースがあった。また、水巻町図書館では、畳の部屋があった。

事務局 伊万里市民図書館も水巻町図書館も、和室で読書できるようにしている。今回、センターゾーンにそうした和室を入れたいと考えている。

委員 建物は何階建てになるのか。

事務局 PFI事業では、公募の際に市が要求する設計水準等をもとに、複数の民間事業者

から整備にあたっての考え方やポリシー、コンセプト等が提案される。今回は、図書館だけではなくホールや広場の整備のほか、撥川や長崎街道の松並木など地形や景観を配慮した中での配置になる。こうした配置や建物の階層なども事業者の方で考えることになる。

委員 図書館は指定管理者になるのか。また、指定期間は何年か。

事務局 ホールとともに指定管理者を予定している。指定期間は15年を予定している。

委員 指定管理者の選定はいつ頃から始めるのか。

事務局 今回は、平成21年度に審査のうえ決定するPFI事業者がそのまま指定管理も受けることになり、個別に選定することはない。整備していただいた方に運営もお任せすることで、使い勝手のいい図書館、ホールにしたい。

委員 図書館をPFIで整備運営している自治体はあるか。

事務局 近隣では長崎市立図書館がある。

会長 完成してみないと分からないこともあるので、今後も、こうした機会をいただきたい。

事務局 公募して審査が済んだ後には、パースなども報告できると思う。

委員 最もよく利用すると思われる八幡西区の方々の意見も聞いているのか。

事務局 図書館だけではなく、ホールとの全体的なことにもつながるので、これまでも地元のみちづくり団体や自治会など様々な団体の方々のご意見も賜ってきた。引き続き、広報活動等は続けていきたい。

会 長 ほかにご意見がなければ、本日の委員会はこれで終了する。

事務局：  
北九州市教育委員会生涯学習課  
TEL 093-582-2385